

「2022 とちぎ夜間中学フォーラム in 小山」が盛大に開催されました！！

当法人も協賛させていただいた「2022 とちぎ夜間中学フォーラムin小山」が令和4年11月5日(土)小山グランドホテルにて、国会議員の先生方や市議会議員の先生方、また地域の教育行政に関わる皆様をはじめ、多くの方にご参加いただき、成功裏に開催することができました。

今回のフォーラムでは、夜間中学に精通されている元文部事務次官の前川喜平先生や、元文部官僚で現在は映画プロデューサーとしても活躍されていらっしゃる寺脇研先生、さらには現役の教師であり、実際に夜間中学を運営されている「岡山自主夜間中学」の城之内庸仁先生、「ひょうご夜間中学をひろげる会」の桜井克典先生など有識者の皆様がゲストとしてお招きし、夜間中学の現状と問題点について、活発なトークが繰り広げられました。

このフォーラムで、改めて認識したことは、我々の周りには、義務教育を修了していない人(栃木県は1万2145人)や外国人に加え、諸事情から十分な教育を受けられなかった形式卒業者、不登校の学齢期の子どもたちがいて、その中に日本語の読み書きや計算が不自由な人が、たくさんいるということでした。

このような皆さんが、実際に困窮していることは、「求職の履歴書が書けない」「病院を受診したくても問診票に記入ができない」「外出したいが、電車やバスへ乗車するのに“行先”や“運賃”が読めないので、ためらってしまう」「役所から手紙が送られてきても、何が書いてあるのかわからない」「商品割引の計算ができない」と言ったことでした。このような「学びの貧困」は「生活の貧困」に繋がり、皆さんが辛い生活を余儀なくされている実態を認識しました。

このような方達に寄り添って、「学びの場」を提供しているのが、「夜間中学」です。しかし小山の「夜間中学」は自主で、行政が携わる公立ではないため、ボランティアの皆さんで運営されており、予算も少なく、月に1回2時間、25名の生徒さんしか学ぶことができません。もし公立であったら、多くの生徒さんが多くの時間、学ぶことができます。

今回のフォーラムを機に、近い将来、小山に公立の夜間中学が開校されるのではないかと期待を膨らませました。

最後になって恐縮ですが、今回のフォーラムには、小山ロータリークラブ様、(株)太陽様、日本生命小山支社様、(株)サオリエスポーツ様にご協賛をいただきましたことに厚く御礼を申し上げます。

2022 とちぎ夜間中学フォーラム in 小山大会委員長
NPO 法人自動車流通市場研究所 理事長
中 尾 聡